石巻での思い

meisei

皆の気持のこもった義捐金、折鶴、メッセージカードを教育委員会に無事お届けし、チャーターしたミニバスに乗り、まず向かったのは日和山公園です。高台の公園は眼下に太平洋、石巻市内、蔵王連山を一望できます。改めて襲った津波の高さを実感しました。

いまだに残る瓦礫の山、流された車の山。大災害の状況を再確認しました。

移動中の車中から見た杉並木は塩害で枯れた木が多く寒々しい風景でした。

大川小学校は今は廃墟となったモダンな円形の校舎の前に作られた鎮魂の碑の前に全員の気持をこめて花束をお供えさせていただきました。海岸から3キロも離れたこの小学校・・・その日の朝までこんな大悲劇の起こることなど知らず楽しく過ごしていた子供たち74名を飲み込んだ津波。つらくてその場にいるのが息詰るような悲しみでした。

次の防災センターでは最後まで津波の避難の放送をしつつ、波に飲まれた女子職員のいた建物です。

鉄骨と外枠だけの建物凄まじい波の強さ！やはり自分の目で見た現状はすさまじかったです。

防災対策庁舎

衝撃の多い旅でした。一年経過して瓦礫などはいくぶんかたづいていましたが、茫々とした荒野が続く現状・・・

横転したビル

復興の道はいまだ遠しです。非常に意義のある旅行でした。参加できてよかったと思いましたが、心にも体にも重い研修でした。

迅速・根気・熱気

今年度総会で大きな垂れ幕に、被災地へ向けての応援の言葉をひとこと書き込むことになった。さてなんと書こう辛かろう！悲しかろう！淋しかろう！助け合おう!!分かち合おう!!負けないで生き抜こう!!

今こそみんなで繋がろう!!でもなんか他人事みたい、実践が伴わないから・・・・・

頑張れ日本！・頑張れ東北！　いろんな応援の言葉が全国的に飛び交っている。そんな時でした

「負けるもんか」

という言葉をみつけた。津波や原発事故にあわれた方たちだけではない。この国はいま、人それぞれにそれぞれの問題をかかえて、「負けるもんか」という思いを抱いているときじゃないか。そんな思いにこの言葉はまっすぐに届いてくる。脱原発のために「頑張ろう」という人よりも、原発の再稼働を強引に進めようとする人たちに「負けるもんか」と言う人の方が、なぜかぼくは一緒に飲みたくなる。＝コラムニスト天野祐吉

先日朝日新聞のコラム欄で目にした文言が気に入りました。

今回TPC課外研修で宮城県石巻の被災地へ2ケ月が経ちました。はや入会にあたりましては、ねずみさんにたいへんお世話になりました。入会をお願いしておきながら、あとで考えるとついていけるのか否かたいへん不安になりましたが、皆さんからはとても親切に教えて頂き、毎週楽しみにegaoで勉強させて頂いています。

今後ともご指導のほどよろしくお願いします。私の趣味は、スポーツと手芸です。

このたび、課外研修・石巻行きにお仲間入りし東北に行ってきました。

今まではテレビと新聞だけで見聞きしていましたが、実際に見た光景は想像をはるかに超えたものでした。

なんともやるせなく、胸がつまる思いでいっぱいになりました。

一日も早く復興できることを心より祈ります。

一年以上たった今もまだ復興の兆しは見受けられないもどかしさ。市庁舎でわが身の危険を顧みず市民に避難警告を叫び続けた女性。大きな波を恐れながら一瞬に逝ってしまった大川小学校の児童たち・・・・・

例え万言を費やしても、用いても～大海の一滴にも及びません。

大蔵

大川小学校

旅の話（1）

ケニアで一番安全な場所は、動物園の中とトイレです。トイレに入るには、入口のおばあさんの足元においてある壺の中にお金をいれて紙をもらってドアを開けてもらう。中にいるのは安心です。

でも・・・でも便座をつかうのには、勇気がいります。日頃足腰を、鍛えておかないと辛いものがあります。ホテルは動物園の中にあるので、動物達にまもられています。暗闇にギラギラ光る丸い物は気にしないで。人間を守ってくれています。コヨーテ達なのです。そんなケニアの動物も絵の材料にはいかがわいいも、新鮮でもある。

藤倉

友情のありがたさ

思いがけない、怪我をしてしまった。ホームに入っている夫を家に連れて帰り、お正月を自宅で共に過ごすことにする。大晦日にゴミをかき集め、ゴミだしをして、靴を脱いで、朝食のしたくをしようと、台所にと思ったその時、仰向けにひっくり返ってしまった。自分でも何が起きたのかわからないが・・・すごい痛みに動けない。玄関のタイル床に背筋をうちつけてしまったらしい。横になったまま、大変なことになってしまったと。すぐ夫をホームに戻さなければいけない。迎えに来てくれた朝食も車でさせず、にかえす。痛みがひどくなり何もできない。

息子に電話をして、横浜から来てもらう。息子のすすめで救急車で、小金原の医院に連れていってもらう。レントゲン写真を三枚写して、骨は大丈夫とのことで、ほっとするが痛みがひどくなにもできない。

夫のホームから私をショートステーにと、話が入り五日間お世話になる。アイちゃんのことがとても心配だがどうしようもない。あとでお隣の方や、向かいのかたがお世話をしてくださったとのこと。ありがたいことでした。帰宅後もベットに横になったまま動けない。友達や嫁がきてくれていろいろと手伝ってもらう。TPCの先生、いく子さん仲間のみなさんがお見舞いにきて、温かさがとても身に染みました。一ヵ月間動けない生活の中で、買い物のこと、おかずを持ってきてくださる方、アイちゃんの世話をしてくださる方など、たくさんの友人に助けていただきました。友情のありがたさをとても感じたことでした。

赤間

ラオスに魅せられて２

ラオスは今もアジアで貧しい国の一つであるが、その中で暮らす人々の心は常に豊かでほほ笑みを絶やさない。ここに我々TPCが目指す笑顔を絶やさない日常生活の元祖が在ると私は思います。

私の知人Yさんは1959年ナムグム・ダム建設の調査からかかわり1960年12月にナムグム河で水量調査中にボートが転覆し部下を亡くし、本人はなんとか村人に助けられたそうです。

後で分かった事ですが、同日にYさんの実母が亡くなっていたそうです。

Yさんの奥様はYさんに代わって実母が亡くなられたのではないかと仰っていました。Yさんはとても親孝行息子で世の中の為にまだまだやる事があると神様がYさんを助けてくれたのではとも奥様は話してくれました。私もそう実感しました。

ラオスでは小動物（小鳥・亀等）を買って逃がした人は難を逃れられると言う伝説があるそうです。

今回Yさんご夫妻は亀二匹（雄・雌）を市場で買い51年前に舟が転覆した河に放流しました。その中程へ一度出てから岸辺の奥様が立っている場所へ戻り、水面から頭を出して、有難う有難うと言う様な行動をしたのです。正に日本の浦島太郎の伝説の様に思いました。その後もこの亀は沖に追いやっても岸辺を離れようとはせず、私たちが岸辺を離れるまで少し深い水溜りに身を潜めていました。本当に思い出に残る不思議な光景でした。

幸田　晋典

完成40年目のナムグム・ダムの前にて

沖縄にて

今年も孫と会うために沖縄に行ってきました。お天気は、晴れていてもすっきりとした青空ではなく、青や緑色の海は見られませんでした。いつもより肌寒い日が多かったです。

孫を公園で遊ばせていたら、息子に声をかけてきた人が居ました。昨年知り合った人で、茨城県から、原発事故のため避難してきたそうです。子ども達が元気に遊んでいるのを見ながら、少し話を伺いました。ご主人は勤務先に、九州か、関西への転勤を願い出ているそうですが、未だにかなわないそうです。松戸にも親戚がいるとのことでした。

沖縄にはウイークリーマンションが沢山ありますが、そこには東北・関東から母子が多く避難しているそうです。同じ境遇の方達でコミュニティーを作り、情報交換しているそうです。知らない土地で幼い子どもを連れて暮らすのはどんなにか大変だと思いました。一日も早く家族揃って生活が出来るようにと心から願いました。

帰宅の予定の3日は全国的に大荒れになり、欠航になってしまいました。空港で翌日の振り替えの手続きをした後、息子が友人と会うのに同行しました。

この日はとても風が強く、本当に寒かったです。めったに、若い人達の話し合いの場に同席することなど無いので、孫の相手をしながら話に聞き入りました。5人それぞれに活躍している若い人達の話はとても興味深く、楽しい時間でした。音楽活動をしている人が、鼻笛を持ってきて吹いてくれました。初めて見る楽器です。すっぽりと鼻を覆う、正に鼻息で演奏するものです。インドネシアのものだそうです。皆、音を出すのに一苦労です。コツが分からなくて、なかなか音が出ないので、たまにピーと鳴ると、オーと声が上がり、大いに盛り上がりました。こんなことがあるのならアクシデントも、悪くは無いなと思いました。

鼻　笛

カズミ

はじめまして　仲田春江です

パソコン教室の仲間に入れていただき、はや2ケ月が経ちました。

入会にあたりましては、ねずみさんにたいへんお世話になりました。入会をお願いしておきながら、あとで考えるとついていけるのか否かたいへん不安になりましたが、皆さんからはとても親切に教えて頂き、毎週楽しみにegaoで勉強させて頂いています。

短歌日誌

東日本大震災一年（2）

深井享子

＊時計がね2時46分で止まってる
今日はみないで前進するか

＊墓石のありし跡地に手を合わす
遺族らにいま雪がちらつく

＊列島が今日一日は鎮魂で
祈りと誓い各地で追悼

＊黙祷に大粒の雨が降ってきた
天国からの涙雨かも

＊被災した時刻忘れず手を合わす
生きてることに感謝をこめて

＊今年咲く花のすべてが供養花
一本も残さず死者に捧げよう

＊被災地の瓦礫の山に新芽がね
復興の兆し後押ししてる

＊あかぎれの手で署名する原発ノー
総理に届けこのお願いが

＊各県が瓦礫の処理に動き出す
列島の美を取り戻さんと

雨にも負けず、風にも負けず将来を夢見た小学生。　慰霊の碑、風車、鯉のぼりは胸
寒風に狂ったようになびき、鎮魂の鐘が
をひしひしと打ち、棒立ちのまま
祈る言葉を模索するばかり。

保護者が連れ帰った子は助かり、70余名の子が天に昇った。母でなく父でもない我々
にどれほどの悲しみが解るというのか！　両手の中で温めた小石もただただむなしい。つて
天と地の架け橋から少し手を放して、いつか会える、きっと会える、その日まで、生きてほしい
いかなくてはならない日々を頑張ってほしいとねがうばかり。

ikuko

えっ！？我が家に？

お正月以来窓ガラスの掃除をなまけていた。雑巾が直ぐに真っ黒に。童謡を口ずさみながら久しぶりの快晴に小気味よい体感を楽しんでいた。

「わぁ！これなあに！」声にならなかった。三センチ弱のヒビ。小さな穴燃え上がる様に付着したスス。兎に角交番に電話。間もなくおまわりさんが来る。直ちに現場の状況検分。☆何時はいられましたか☆足跡は☆被害は☆矢継ぎ早に聞かれる☆暮れの大掃除からしていませんので解りません。被害も有りません。と答える。すると間髪いれず「スキが有りましたね」と（我が家はワンドアーツウロック）を採用している。特に今では暑い夜でも窓を開けて寝ることはない。

「イヤ！」風呂場だけ補助錠を使って両端を開けている。カビ対策として

「そこでしょう　スキの有る家は他にあることが多いと思っている」

知人も二人風呂場からはいられている。そこで対策を享受した。

空き巣対策
☆使わない部屋の雨戸は開けない
☆外出予定の有る日は一か所のみ開け他の部屋の雨戸は開けない
☆日中急に外出することになっても雨戸は閉めて行く

昼間から雨戸では留守丸出しでは」と聞く。「雨戸を壊してまで空き巣はいらない」と。「この方法の呼びかけで管轄区域では空き巣は無かった。」と自信ある言葉をのこして帰られた。

私も今ではパソコン教室に雨戸を閉めてくる。

よ　ん